

公立小中学校の木質化事例

学校名		鳩山町立亀井小学校
木質化の実施方法		平成25年度学校施設環境改善交付金 (大規模改造(老朽))
所在地		〒350-0305 比企郡鳩山町泉井323-4
児童生徒数		83名(平成26年5月1日時点)
施設の概要	建物区分	校舎
	規模(構造・階数・延床面積)	鉄筋コンクリート造 2階建て 1,984㎡
	施設の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・空間や構造の計画、木材調達の工夫・留意点 ⇒木の組成を活かすため、壁や掲示板の色に配慮した。 ・使用している木材の概要(使用樹種や部材) ⇒廊下・階段部の床:ヒノキ集成材 廊下の腰壁:スギ 多目的室の天板・ルーバー・照明ボックス:スギ 校長室・職員室等の扉:スギ集成材 ・活用した財源や支援制度 ⇒学校施設環境改善交付金(大規模改造(老朽)) 地方債 ・設置者や利用者の声 ⇒校内のいたる所にぬくもりと癒し効果を持つ「木」を取り入れたことで、雰囲気落ち着き、学習環境が向上しました。 ・木材利用による建築コストを抑えるための工夫 ⇒埼玉県産の間伐材や無垢材ではなく集成材を使用することで、コストの削減ができた。 ・木の学校とした背景 ⇒町内全ての学校が木質化されているため、内装木質化と耐震補強をメインに校舎の大規模改造を行うこととなった。
工事の概要	設計・工事期間	実施設計:平成26年4月~平成26年6月 工 事:平成26年7月~平成26年10月
	工事費	工事費(一式) 135,540千円(建築・電気・電気)
	木材使用量	県産木材14㎡、県外産1㎡ 計15㎡

施設の概要（写真）



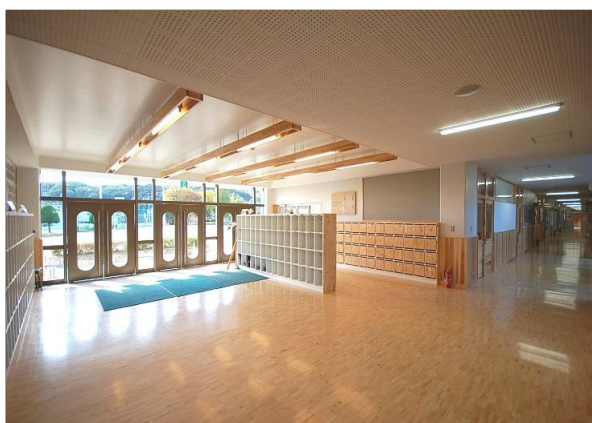
写真① 改造後の校舎外観（東側より撮影）
クラックはUカットシール材充てん工法により補修。



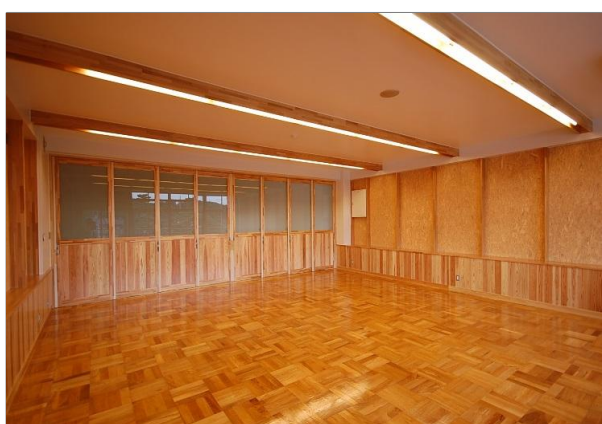
写真② 改造後の校舎外観（南側より撮影）
クラック補修後、外壁の塗装については、ゆず肌状ローラー仕上げとした。



写真③ 校舎内観（普通教室後方）
設置された家具については国産ヒノキの集成材、窓側の腰板はときがわ町産スギ材を使用。



写真④ 校舎内観（昇降口及び廊下）
床は県産、下足箱は国産のヒノキ集成材を使用。
天井の間接照明BOXは県産スギ集成材を使用。



写真⑤ 校舎内観（多目的室）
既存床を研磨補修後に塗装。腰板はときがわ町産スギ材、4重引分け戸は国産スギ集成材を使用。



写真⑥ 校舎内観（階段）
腰板はときがわ町産スギ材、床は国産ヒノキ集成材を使用。